

プレスリリース

KAAT
KANAGAWA ARTS THEATRE

KAAT神奈川芸術劇場プロデュース

『華氏451度』

原作:レイ・ブラッドベリ

演出:白井 晃 上演台本:長塚圭史



【出演】

吉沢悠 美波 堀部圭亮 粟野史浩 土井ケイト 草村礼子 ／ 吹越満

2018年9月28日(金)～10月14日(日)

KAAT神奈川芸術劇場<ホール>

企画・製作 神奈川芸術劇場

■お問合せ■ 本作品のご取材のご希望、宣伝素材のご提供を承ります。お気軽にご連絡ください。

広報:小島里枝子 kojima@kanagawa-af.org ／ 菅原渚 sugahara@kanagawa-af.org

KAAT 神奈川芸術劇場 <http://www.kaat.jp/>

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 281

TEL.045(633)6500(代表) FAX.045(681)1691

白井晃×長塚圭史のタッグが、「焚書」を描くディストピア小説の舞台化に挑む！

SF小説の金字塔を舞台化

KAAT 神奈川芸術劇場では、白井晃演出による『華氏451度』を上演します。原作は、アメリカの作家レイ・ブラッドベリによって書かれたSF小説。題名は（本の素材である）紙が燃え始める温度を意味しています。本の所持や読書が禁じられた架空の社会を舞台に、SF界きっての抒情詩人が現代社会を鋭く風刺したディストピア小説の傑作は、仏ヌーベルヴァーグの巨匠フランソワ・トリュフォー監督によって映画化されたことでも有名です。今年、世界中で読み継がれるSF小説の名作の舞台化に挑戦します！

白井晃・長塚圭史の贅沢なタッグにより生まれる上演台本

今回の舞台化にあたっては、劇作家の長塚圭史が新たに小説から脚色して上演台本を作成します。白井晃とは2014年に「夢の劇（ストリンドベリ原作）」の台本作成で共同作業をしており、古典を現代の視点から脚色し、作品の新たな魅力を発見する刺激的な成果を生み出しました。また、長塚自身が『華氏451度』の上演を長らく温めていたという偶然も重なり、いまの演劇界を担う2人のアーティストのタッグが実現しました！

実力派キャストが勢ぞろい

本公演の上演にあたっては、6名の実力派キャストが揃いました。主役には映画・ドラマに幅広く活躍し、本格的な舞台公演は3年振りとなる吉沢悠、主人公の妻と、物語のキーパーソンとなる少女という対照的な二役を兼ねるのは、日仏を拠点に両国で活躍する美波。また、主人公を追い詰める上司役には、数々の舞台・映画で演じる個性的な役で作品に深みを与える吹越満が務め、さらに、確かな演技で白井からの信頼が厚い堀部圭亮、栗野史浩が脇を固めるほか、近年着実に実力をつけて活躍する土井ケイトが初めて白井作品に登場します。吉沢悠以外の5人は1人2~4役を演じ分けるという、この実力派キャストだからこそ上演が叶う本公演にぜひご期待ください！

『華氏451度』とは

アメリカの作家、レイ・ブラッドベリによって1953年に書かれたSF小説。新たな通信媒体が急速に発展し、情報化社会に飲み込まれていこうとする当時のアメリカで、本がラジオに取って代わられる危機感を感じた作者が未来世界に真っ向から取り組んだ本作品は、多くの読者を獲得し代表作となっている。1966年の映画化以降、リメイクのアイディアが現在に至るまで浮かんでは消えていたが、遂に今年、アメリカのケーブルTV局HBOにより、テレビ映画として公開されることが決定した。刊行から60年以上経った今なお注目を集めている傑作である。

【あらすじ】

徹底した思想管理体制のもと、書物を読むことが禁じられ、情報は全てテレビやラジオによる画像や音声などの感覚的なものばかりで溢れている近未来。そこでは本の所持が禁止されており、発見された場合はただちに「ファイアマン」と呼ばれる機関が出動して焼却し、所有者は逮捕されることになっていた。そのファイアマンの一人であるガイ・モンターグは、当初は模範的な隊員だったが、ある日クラリスという女性と知り合い、彼女との交友を通じて、それまでの自分の所業に疑問を感じ始める。モンターグは仕事の現場から隠れて持ち出した数々の本を読み始め、社会への疑問が高まっていく。そして、彼は追われる身となっていく…。

*レイ・ブラッドベリ Ray Douglas Bradbury (1920-2012)

1920年アメリカ、イリノイ州生まれ。1947年に最初の短編集『黒いカーニバル』が刊行され、1950年には最高傑作といわれる『火星年代記』が、1953年にはディストピア的未来世界を描いた長篇『華氏451度』が刊行された。作

家の名声を確立した後には、映画の脚本家としても活躍し『白鯨』『トワイライトゾーン』などを手がける。2004年には、アメリカ国内で、芸術家に与えられる最高の栄誉とされる、ナショナル・メダル・オブ・アーツを授与された。

演出・白井晃より

人間は、利便性を追求するがゆえに、自らを消滅させていく方向に向かっているのではないか、とこの頃よく考えます。長い時間かけて積み重ねてきた歴史、文化を、私たちは今、ゆっくりと終わらせようとしているのではないでしょうか。

この20年間の急速な情報化によって、私たちは、さまざまな情報に、素早く接することができるようになりました。パソコンや携帯電話を開けば、知りたい情報はすぐ手に入る。でも、それらが全て嘘だったら？ 無意識に自分の知りたい情報だけを集め、物事を知ったつもりになっているのだとしたら？ テレビ画面や検索エンジンなどを通して簡単に手に入る情報は、実は、私たち自身を平均化し、自己の確立を妨げるものなのかもしれません。こうして、私たちの欲望は、私たち自身の思考や言動を管理してしまうのです。

この作品の題材となっている「焚書」には、ナチスをはじめとする国家体制を維持するための思想弾圧のイメージがついてまわります。でも私は、この物語をそのように描いてはいけないと思っています。人類が自ら考えることを放棄するなか、主人公のモンターグは、はたと「これでいいのか？ 僕たちは、今、どこに立っているんだ？」という疑問を持ちます。確かに紙としての本は、環境保護の点からも、もはや必要とされていない面もあるでしょう。しかし、一人の作家が血みどろになるほど格闘し、何万語を費やして著した書物には、それだけの深さと過去の歴史が詰まっています。

これは、そのことをあらためて認識し、体験し、個を確立していく自己回復の物語です。

KAAAT神奈川芸術劇場 芸術監督 白井晃

【演出】白井 晃



早稲田大学卒業後、1983-2002年、遊・機械/全自動シアター主宰。劇団活動中よりその演出力が認められ、演出家として独立後は、ストレートプレイから音楽劇、ミュージカル、オペラまで幅広く手掛けている。中でもポール・オースター作『ムーン・パレス』『幽霊たち』他やフィリップ・リドリー作『ピッチフォーク・ディズニー』『宇宙でいちばん速い時計』『ガラスの葉』など海外の小説や戯曲を独自の美学で演出し、好評を博す。

近年の演出作品に、『バリーターク』『オーランドー』『春のめざめ』『マハゴニー市興亡』『夢の劇-ドリーム・プレイ-』『ペール・ギュント』『Lost Memory Theatre』、『マーキュリー・ファー』『レディエント・バーミン』、『No.9-不滅の旋律-』『ジャンヌ・ダルク』、音楽劇『ヴォイツェク』、ミュージカル『ビッグ・フィッシュ』、オペラ『愛の白夜』『オテロ』など。

第9回、第10回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。05年演出『偶然の音楽』にて平成17年度湯浅芳子賞

(脚本部門)受賞。また12年演出のまつもと市民才ペラ『魔笛』にて第10回佐川吉男音楽賞受賞。
2016年4月よりKAAT神奈川芸術劇場、芸術監督に就任。

【キャスト】



吉沢 悠 よしざわ・ひさし (ガイ・モンターグ役)

1998年にデビュー。以降、映画、テレビドラマ、舞台など幅広く活躍中。2002年「ラヴ・レターズ」で初舞台。主な舞台出演作品は、『幕末純情伝』(つかこうへい演出08年)、『オーデュボンの祈り』(ラサール石井演出11年)、『助太刀屋助六 外伝』(G2演出12年)、『遠い夏のゴッホ』(西田シャトナー演出13年)、主演『宝塚 BOYS』(鈴木裕美演出13年)、『きりきり舞い』(上村聰史演出13年)、『TAKE FIVE』(渡瀬暁彦演出15年)などがある。映画では、主演『ライフ・オン・ザ・ロングボード 2nd Wave』(喜多一郎演出19年春)が公開待機中である。近年では、役者の幅を広げ、人間味あふれる演技で幅広い層から支持されている。今回、白井晃演出作品に初めて出演する。



美波 みなみ (クラリス・マクミラン/ミルドレッド・モンターグ役ほか)

2000年、深作欣二監督の『バトル・ロワイアル』で映画デビュー。化粧品のCMモデルに起用されたことをきっかけに注目を浴びる。07年のドラマ『有閑俱楽部』(日本テレビ)、映画『乱暴と待機』(富永昌敬監督10年)など多数の映像作品のほか、舞台でも野田秀樹演出『贊作 罪と罰』(06年)、蜷川幸雄演出『エレンディラ』(07年)をはじめ、栗山民也、宮本亞門、長塚圭史などの演出家たちの作品に出演。15年に文化庁新進芸術家研修で、フランス・パリのジャック・ルコック国際演劇学校に1年間在籍。現在はフランスと日本を拠点に、ワールドワイドに女優活動を続けている。新作映画『Vision』(河瀬直美監督/ジュリエット・ビノシュ、永瀬正敏主演)が6月8日に全国公開された。白井晃演出作品には、『Lost Memory Theatre』(14年)に続き2回目の出演。



吹越 満 ふきこし・みつる (ベイティー隊長役ほか)

1984年、ワハハ本舗に参加、99年に退団。主な映像出演作に映画『冷たい熱帯魚』(園子温監督11年)『悪の教典』(三池崇史監督12年)『友達のパパが好き』(山内ケンジ監督15年)。テレビドラマ『特捜9』(ANB)『新米社員浜崎伝助 釣りバカ日誌』(TX)他。舞台は『農業少女』(松尾スズキ演出00年)『エレファントバニッシュ』(サイモン・マクバーニー演出02年)『シダの群れ第3弾』(岩松了演出13年)『ポリグラフ～嘘発見器～』(吹越満演出14年)『相談者たち』(山内ケンジ演出17年)『プルートゥ』(シディ・ラルビ・シェルカウイ演出18年)等。また、89年から継続している『フキコシ・ソロ・アクト・ライブ』では、俳優らしからぬ実験的な〈芸〉を展開。ひとり舞台の可能性を追求するソロ・パフォーマーでもある。今回、白井晃演出作品に初めて出演する。

**堀部圭亮** ほりべ・けいすけ

舞台、テレビ、ラジオなど多岐に渡って出演するほか、放送作家としても活躍し、映画『悪夢のエレベーター』では、監督と脚本を担当するなど、マルチな才能を発揮している。主な出演作品は、舞台『兄帰る』(永井愛演出 2013年)、『昔の日々』(デヴィッド・ルヴォー演出 14年)、『ペール・ギュント』(白井晃演出 15年)、『フェードル』(青山真治演出 15年)、『祝女～syukujo～season2』(西川毅演 15年)、『人間風車』(河原雅彦 17年)、『TERROR』(森新太郎演出 17年)、TVに『アキラとあきら』(WOWOW)、『愛してたって、秘密はある。』(NTV)、NHK 大河ドラマ『平清盛』、映画に『関ヶ原』(原田眞人監督 17年)『8年越しの花嫁』(瀬々敬久監督 17年)などがある。

**栗野史浩** あわの・ふみひろ

1997年文学座研究所入所。2002年座員となり、現在に至る。1999年『翔べない金糸雀の唄』にて初舞台。主な出演作品に、舞台『ロンドン版ショーシャンクの空に』(白井晃演出 2014年)『音楽劇 わが町』(西川信廣演出 14年)『BE MY BABY』(鵜山仁演出 16年)『バクダッド動物園のベンガルタイガー』(中津留章仁演出 15年)『トロイ戦争は起こらない』(栗山民也演出 17年)『欲望という名の電車』(フィリップ・ブリーン演出 17年)、映画に『パッチギ!LOVE&PEACE』(井筒和幸監督 07年)『凶悪』(白石和彌監督 13年)『渾身 KON-SHIN』(錦織良成監督 13年)など。その他、TV、アテレコなど幅広く活動。

**土井ケイト** どい・けいと

19歳で故蜷川幸雄氏主宰さいたまネクストシアター旗揚げメンバーのオーディションに合格。同劇団の旗揚げ公演『真田風雲録』で初舞台。土井睦月子(どいむつきこ)の名前で活動。第18回読売演劇大賞優秀作品『美しきものの伝説』、第20回読売演劇大賞優秀作品『ハムレット』等に出演。同劇団退団後も、舞台、テレビ等を中心に活動中。主な出演に舞台『海辺のカフカ』(蜷川幸雄演出 2014年)『ダニーと紺碧の海』(藤田俊太郎演出 2017年)『チック』(小山ゆうな演出 2017年)、ブロードウェーの鬼才マイケル・マイヤー演出『お気に召すまま』ロイヤルシェイクスピアカンパニー出身の演出家リチャード・トワイマン演出『危険な関係』等、テレビドラマ『十津川警部シリーズ』(TBS)『特捜9』(テレビ朝日)等にも出演。

【公演概要】

■公演名：

KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「華氏 451 度」(かしよんひゃくごじゅういちど)

■スタッフ

原作：レイ・ブラッドベリ 演出：白井晃 上演台本：長塚圭史 音楽：種子田郷 ほか

■出演：

吉沢悠 美波 堀部圭亮 粟野史浩 土井ケイト 草村礼子 ／ 吹越満

KAAT公演

■公演日程：2018年9月28日（金）～10月14日（日）

	9月				10月							
	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
13:00									●			
14:00			●	●			●			●	●	
18:00		●						●				
19:00	●					●						
10月												
	10	11	12	13	14							
	水	木	金	土	日							
13:00			●									
14:00	●				●							
18:00			●									
19:00		●										

■会場：KAAT 神奈川芸術劇場<ホール>

■入場料金：S席 7,000円 A席 5,000円（税込）

U24 チケット 3,500円 高校生以下チケット 1,000円 シルバー割引 6,500円（観劇時 65歳以上対象）

※U24、高校生以下、シルバー割引は、チケットかながわの電話・窓口で取り扱い(前売のみ、枚数限定)。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。※営利目的の転売禁止。

■前売開始：2018年7月13日(金) KAme(かながわメンバーズ)先行 6月23日(土)

■チケット取り扱い：チケットかながわ <http://www.kaat.jp/> 0570-015-415(10:00～18:00) チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット など

■お問い合わせ：チケットかながわ 0570-015-415 (10:00～18:00)

豊橋公演

■日程：2018年10月27日（土）28日（日）各日 13:00 開演

■会場：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT ■主催：公益財団法人豊橋文化振興財団

■お問い合わせ：プラットチケットセンター 0532-39-3090

兵庫公演

■日程：2018年11月3日（土）15:00／4日（日）12:00 開演

■会場：兵庫県立芸術文化センター ■主催：公益財団法人兵庫県芸術文化協会

■お問い合わせ 芸術文化センターチケットオフィス：0798-68-0255